

プール付 condominium

日本では富豪・高級住宅の屋敷といえどもプールを備えているのは珍しい。それは季節に大きく関係しているようだ。プールを利用できる期間は年間を通して7・8月くらいで、後の10ヶ月くらいは無用の長物かとするからだ。

クアラルンプールは東南アジアでも大都会の一つ。人口の集中化に伴い住宅の建設は急ピッチで進められている。特に中心街より北西に10km程行くと日本人が多く住む高級住宅地がある。ここは山を切り拓いて開発した地域で、東京ドーム33個分の面積を持ち高層集合住宅・コンドミニウムが林立している。近くにはショッピングモールも沢山あり、いずれも活気に満ち溢れていた。



マレーシア人でクアラルンプールに住む私の友人の娘さんが結婚。マレーシアの結婚式の習慣ではまず新婦の実家を訪問し、新郎を親戚関係者に紹介する。そして新婦を連れて新郎の実家を訪問し親戚関係者に紹介する。両家も共に簡単な軽食を準備し歓迎の意を伝える。この写真は新郎家族が住んでいたコンドミニウムに付帯するプール。そのプールサイドで軽食が準備されていた。優雅で立派な設備を備えたリゾート風のプールには家族連れが楽しく遊んでいた。そうなんだ！ここは一年中プールを楽しめる常夏の国なのだ。

新郎家族が住む部屋に入って驚いたことは、天井は高く広々とした室内。豪華でセンスの良い家具と調和のとれたインテリアが素敵であった。新郎の父親は会社の社長をしているとのことであるにしてもリッチな生活が伺われる。ここだけを比較すると日本の平均よりはるかにレベルの高い先進国の生活を見たようであった。

撮影 2014 年秋

